週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端２－７－17
井門池之端ビル　〒110-0008
株式会社観光経済新聞社
電話　03(3827)9800(代)
FAX　03(3827)9730

北海道支局
札幌市中央区北６条西27丁目1-3-705　〒064-0826
電話　011(624)5030
FAX　011(621)2530

関西支局
大阪市北区梅田1丁目11番4－1000号 大阪駅前第4ビル　〒530-0001
電話　06(7636)6377
FAX　06(6131)6199

九州支局
福岡市早良区室見1－12－1－508　〒814-0015
電話　070(6666)6350
FAX　092(836)7992

購読料年間 19,800円（税・送料込）（税抜18,000円）
振替口座　00140-2-86888番
e-mail info@kankokeizai.com

求職者に対して、あなたの職場は魅力的ですか？
私たちが魅力的な職場づくりを支援します！
詳細はこちら▶
株式会社 縁多

「和倉温泉を忘れないで」

被災旅館が「復興市」

イベントを今後も継続

能登半島地震で大きな被害を受けた和倉温泉（石川県七尾市）で3日、「和倉復興めぐる市」と題するイベントが行われた。各旅館で使われなくなった食器をはじめ、さまざまな備品を廉価で販売。遠方からの買い物客を含めて多くの来場者でにぎわった。イベントを主催した和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会の多田直末・同イベント実行委員長（美湾荘社長）は「温泉地が忘れられないように、今後もイベントを続けていきたい」と話す。

食器や備品など、旅館の業務用品を廉価で販売した

会場となった「和倉温泉お祭り会館」には、同温泉の旅館5軒（加賀屋、美湾荘、多田屋、はまづる、宝仙閣）が小間を設置。地震による被害で休業を余儀なくされる中、不要になったり、半端になったりした食器や小物類、家具などの備品を廉価で販売した。

午前11時の開場を前に、お目当ての品を手に入れようと会場前には長蛇の列ができた。混雑によるトラブルを避けようと、開場当初は入場者数を制限するほどの盛況ぶりだった。

地元住民にとどまらず、遠方からも買い物客が訪れた。愛知県から来たという夫婦は「10時間かけて、このイベントのためにここまで来た。以前泊まったことがある旅館で出された食器を買ったほか、さまざまなものを衝動買いしてしまった」とニッコリ。

出店した旅館の従業員は、足りなくなった品物を宿から急きょ持ち寄るなど、顧客への対応に汗を流していた。

■　■

多田直末・同イベント実行委員長に話を聞いた。

多田委員長

――イベントの目的を改めて。

「地震による大きな被害を受けて、建物の解体が行われますが、再建時には今の時代、どうしても規模が縮小の方向に向かいます。その中で、食器などの品物も持て余してしまうものが出てきます」

「地震によって割れてしまい、数が半端になった食器もあります。旅館では半端かもしれませんが、ご家庭や飲食店ならば問題なく使えるのではないでしょうか。半端だからといって捨ててしまうのはしのびない。地震による被害と、本来ならば捨てなくてもいいものを捨ててしまう。二重に心が痛むところでしたが、どこかで使っていただけるとしたら本当にうれしいです」

「温泉地の復興ビジョンのキーワードは『めぐる』です。和倉温泉に来ていただき、能登半島を『めぐる』、そうしてもらうことで経済が『めぐる』、そして温泉に入って体に血が『めぐる』と、いい循環をつくっていきたいです。食器など物品もいい具合に『めぐって』いただければと思います」

――温泉地復興への道のりは。

「まだまだ先は長いです。工事の段取りがつかないところがほとんど。工事関係者の人手が不足していたり、建築資材が高騰していたりと、心配事がたくさんあります」

――多田さんの宿「美湾荘」は。

「今は復旧業者さんの宿泊を、無事だった館で受け入れています」

「部分解体を今月から始めますが、来年いっぱいかかります。そこから建て直しに入り、1年半から2年。再建は3年後を考えています。従来の8階建てから規模を縮小して5階建てにする予定です」

――国などの行政、一般客に訴えたいことは。

「行政にはしっかりと予算を付けて、スピードアップして物事を進めていただきたい。早く復旧できるように、サポートをお願いしたいです」

「お客さまには和倉温泉のことを忘れないでいただきたい。忘れられないように、私たちはこのようなイベントを今後も続けていこうと考えています」

「今まで旅館が集まってのイベントはなかなかできなかったのですが、今回とてもいい具合にできました。来年以降、復興してからもイベントを続けていきたいと思います」【森田淳】

「必ず復興」「復興するぞ」と自らを鼓舞する張り紙も

前年同月比0.4％増加

宿泊業、8月の売上高

コロナ前比は3.8％増

総務省がこのほど公表したサービス産業動向調査の8月分速報で、同月の宿泊業（旅館・ホテル、簡易宿所、下宿業）の売上高は前年同月比0・4％増の7563億9300万円と、3カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比は3・8％増。

今年5月の売上高が、速報値で前年同月比0・2％増も、確定値で0・1％減と減少に転じた。このため2021年12月から続いていた前年同月比の増加は29カ月連続でストップ。8月は3カ月連続の増加となった。

サービス産業全体は前年同月比2・4％増の32兆9828億3300万円と、34カ月連続で増加した。コロナ禍前の19年同月比は5・3％増。

ほかの業種を見ると、飲食店が前年同月比3・6％増（19年同月比0・6％増）の1兆8245億8700万円。娯楽業（映画館、公園・遊園地、遊戯場など）が同4・8％増（同11・4％増）の2兆8747億6600万円。道路旅客運送業が同4・1％増（同7・5％減）の2607億7400万円。

宿泊業の従事者数 前年比0.7％増加

同月のサービス産業の事業従事者数は、宿泊業が前年同月比0・7％増の72万9600人と32カ月連続で増加した。コロナ禍前の19年同月比は0・1％増。

サービス産業全体は前年同月比0・3％増（19年同月比1・4％減）の2980万4300人。

このほか飲食店が同0・3％増（同8・0％減）の396万8300人。娯楽業が同0・7％減（同5・7％減）の89万4200人。道路旅客運送業が同1・9％増（同8・6％減）の47万6200人。

観光指針

温泉地の取材の際は、仕事が終わると街の公衆浴場に行くようにしている。地元客の利用が多く、その土地に溶け込んだかのような気分になれるのが心地良い▼元日の震災で大きな被害を受けた和倉温泉。温泉街の中心にあり、同温泉のシンボルともなっている「総湯」は震災があった日のおよそ3カ月後の3月26日に営業を再開。筆者が訪ねた今月初めは被害があったことを忘れさせるほど多くの入浴客でにぎわっていたが、フロント係の方によると、「復旧業者やボランティアの方の利用がそこそこあるものの、観光のお客さまがほとんどいないので、以前と比べればまだ少ない」そうだ▼東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市の前市長、戸羽太さんに先日インタビューした。戸羽さんはまちの復興計画を立てる上で大事にしたことは「市民が津波で亡くなることが二度とないまちにすること」。そして「ただまちを元に戻す〝復旧〟ではなく、以前からあった課題を解決させること」。道路の段差をなくすなど、バリアフリーの取り組みを進めた結果、ある障害者関連団体の全国大会を都市部以外で初めて受け入れるなど、成果が目に見えて表れたという▼和倉温泉も復興した際には従来よりも良いまちになっていることだろう。その日が早く来ることを願うばかりだ。【M・A】

観国之光

クニノ ヒカリ ヲ ミル

――観光業界の今を読み説く　■481■

世界記憶遺産

歴史の貴重な証言物

京都府舞鶴市が10月30日、東京都内で記者会見し、旧ソ連によるシベリア抑留と海外からの引き揚げに関するイベントを、12月と来年3月に都内で開催すると発表した。その際、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の「世界の記憶」（世界記憶遺産）の話が出た。

同市（舞鶴引揚記念館）が所蔵する引き揚げ関係資料570点は2015年10月、「世界の記憶」に登録されたが、来年はその10周年にあたる。折しも、戦後80年、そして引き揚げ開始80年の年でもある。日本にとって、また同市にとって節目の年であり、改めて「世界の記憶」を取り上げたいと思った。

ユネスコの「世界の記憶」は、世界的に重要な記録物を人類の財産として保存することなどを目的に国際的に登録する制度で、1992年に始まった。文書や書物、楽譜や手書きの写本だけでなく、絵画、地図、ポスター、映画など多岐にわたる記録物が対象となっている。2年に1回審査されている。

制度には世界的に重要性があるものを登録する「国際登録」と地域的重要性があるものを登録する「地域登録」があり、昨年3月現在で、それぞれ494件、65件が登録されている。

ちなみに、国際登録は国際諮問委員会（IAC）の勧告に基づき、ユネスコ執行委員会で決められる。

日本の国際登録は、同市の引き揚げ資料（正式には「舞鶴への生還1945～1956：シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録」）のほか、「山本作兵衛氏の炭鉱の記録画並びに記録文書」（11年）、「御堂関白記」（13年）、「上野三碑」（17年）などがあり、最も新しいのは23年の「智証大師円珍関係文書典籍―日本・中国の文化交流史」で、計9件となっている。

このほか、原爆投下後の広島で撮られた写真や映像の資料、東京の増上寺が所蔵する経典が登録候補として推薦されている。

引き揚げの記録の資料の一つ「白樺日誌」（レプリカ）。シベリア抑留中の様子や心情を和歌などでつづった日誌

登録された際、日本政府は「政治利用」と抵抗した。審議が非公開で、関係国の意見が反映される仕組みがないことなどが背景にあったと記憶する。

その後ユネスコは「世界の記憶」の制度改革案をまとめ、政治利用を狙った申請事案について、加盟国が登録を阻止できる仕組みを設けたとされる。

本来の趣旨に沿って、「世界の記憶」が残されることを強く望む。世界遺産と異なり、知名度は決して高くはないが、歴史の証言という重みを感じ、触れてみることを勧めたい。【内井高弘】

風呂じまんの宿特集

4～7面

「災害」テーマに講演も

本社「250選授与式」1月15日開催

観光経済新聞社は来年1月15日、東京の浅草ビューホテルで2024年度「人気温泉旅館ホテル250選認定証授与式」を開く。午前10時30分から第1部で東京大学大学院情報学環総合防災研究センター客員教授の松尾一郎氏が「災害多発国日本！ 命を守る観光業界の役割とは」をテーマに講演。11時からの第2部で250選入選旅館・ホテルに認定証、250選と同時に実施の「にっぽんの温泉100選」の上位温泉地に表彰状を贈る。

250選は旅行業者、OTAの社員などによる温泉地の旅館・ホテルの人気投票。投票の多かった上位250軒を順位を付けずに公表している。通算5回以上入選の施設は「5つ星の宿」の称号とともに、特製の認定証を贈っている。

投票は10月末で締め切り。結果は本紙の年内最終号（12月16日付）で発表する。

前回の授与式（今年１月19日）

本社テーマ
観光立国の実現は、地方（地域）から
since1950

今週の紙面

2面
宿泊税、DMOの在り方提言
公益財団法人日本交通公社が開催した旅行動向シンポジウムで、セントラルフロリダ大学の原忠之准教授が講演。財源の獲得手法をテーマに宿泊税やＤＭＯの在り方を提言した。

3面
「今行ける能登」を楽しむ
ＪＲ西日本と日本旅行は、能登復興応援ツアーを12月から催行する。和倉温泉の旅館での昼食や祭りの疑似体験など、「今行ける能登」を楽しむ。

9面
２者が食材を「共同配送」
西武・プリンスとオリックスは、共通の倉庫から各施設に食材をまとめて配送する「共同配送」を京都・滋賀エリアで始めた。

10面
「温泉地のインバウンド対応」
環境省が第８回全国温泉地サミットを東京都内で開催。「温泉地のインバウンド対応」をテーマに４市の市長らがそれぞれの施策を講演した。

11面
九州で未来語る「サミット」
「九州アイランドサミット」が福岡市内で開催。ＵＮＷＴＯ駐日事務所の本保芳明代表、日本旅館協会、全旅連の両トップらが「旅館・ホテル・温泉が支える未来」を語った。

観光経済新聞
kankokeizai.com

LG Styler™
独自のスチーム技術で衣類を簡単リフレッシュ
衣類のしわ伸ばし
消臭・除菌
ズボンの折り目ケア
「LG Styler」の導入をご検討なら
LG Electronics Japan 株式会社
電話：03-5299-4602
Mail：b2b2c@lge.com

感謝・貢献　― おかげさまをもちまして創業45周年 ―
より良いシステムの開発とお客様サポート体制の更なる向上に努め
旅館・ホテル様のよきパートナーとしてお役に立ちたいと思います
新たなプラットフォームでフルモデルチェンジ！
最大の特徴は　多様なニーズに対応できる柔軟性
◎データ連動性　・予約管理からフロント会計、売上管理そして顧客管理まで一元管理し、お客様の「入口」から「出口」そしてまた「入口」へとリピートサイクルの確立を支援します。
◎拡張性　・様々な連動オプションシステムを準備
CTI、厨房インフォメーション、売掛管理、タブレットチェックイン、セルフオーダリングシステムルームインジケーター、サイトコントローラ (2Way)、自動精算機、自動釣銭機、POS システム スマートキー、財務会計システム連動、etc
◎柔軟性　・クラウド型（サービス提供型）・オンプレミス型いずれの形式でもご提供可能です。
・オンプレミス型～ クラウド型でもカスタマイズ・オリジナル帳票作成等 柔軟な対応が可能です。
・ご希望の外部システムとの連携など柔軟に対応致します。
旅館ホテルトータルソリューション MACRA ～マクラ～
MACRA
Management Assist of Customer・Reservation・Account
姉妹システム
充実したシステム内容で操作は簡単、価格は安く！
コンパクトなシステム
フロントシステム スマート
プレチェックイン　フロント会計　顧客管理
充実のシステム内容、驚きの価格
ビジネスホテル専用システム
フロントシステムBIZ
新日本コンピュータサービス株式会社
〒321-0952 宇都宮市泉が丘5－7－11
TEL.028-660-1160㈹ FAX.028-660-1161
URL http://www.njcs.co.jp/
東京オフィス
〒162-0845 新宿区市谷本村町 3-19 千代田ビル704
TEL.03-6457-5407 FAX.03-6457-5408